

純白の色彩に映える、洗練された墨線

土田麦僊《平牀》1933（昭和8）年

平牀へいしょうとは家具のことで、人が座ったり横になったりするベッドのようなものです。そこへ座り足を伸ばす女性と、ひかえめにそばに立つ女性。2人の人物が描かれ、こちらへ視線を向けています。衣服は朝鮮の民族衣装で、白くしたものは庶民が好んだ色でした。画面に大きく人物が配され、背景は余白というシンプルな構図で、描線は均一に、細く描かれています。色彩は柔らかな色遣いで、全体に清らかで端正な雰囲気をつたえています。つつましく、清楚な女性を画家が見つめる、真摯なまなざしを感じられる作品です。

《平牀》は1933（昭和8）年、土田麦僊（1887-1936）が46歳のときに制作した作品です。麦僊はその3年後、49歳で生涯を閉じますから、晩年の代表作ということになります。麦僊は若い頃から、人物像、特に女性を描くことを得意とし、流麗な線の美しさで有名でした。本作もそうした様式の極致といえますが、しかし一方で、1918（大正7）年の《湯女》（東京国立近代美術館）や1924（大正13）年の《舞妓林泉》（東京国立近代美術館）のような女性主題の麦僊作品がカラフルな色彩を特徴とするのに比べると、本作は白を基調とし、かなり抑えられた色彩になっています。

麦僊は、晩年期における女性像の集大成として、どのような作品を目指したのでしょうか。

《平牀》を制作した年、麦僊は朝鮮に渡り、京城に約3か月間滞在しています。当時朝鮮は日本の植民地で、多くの日本人画家が渡航し、画題を求めました。麦僊もまた朝鮮の古美術を見て、風俗の取材を行いました。そこで妓生（きしょう／キーセン）という朝鮮の芸妓のスケッチも行い、それをもとに《平牀》を完成させ、第12回朝鮮美術展覧会および第14回帝展に出品しました。画面全体が白っぽいため、帝展会場では目立たず見過ごされそうなほどであったといえます。

画家の籾木清方が本作を「平淡の美」と称したように、画面は隅々まで整理され、無駄な要素が極端に排されています。その中でも白の色彩は特に注目されます。

麦僊は画業の前半から、西洋画の鮮やかな色彩を日本画に取り入れたことでよく知られますが、一方後期になると、中国古典の院体花鳥画などにも大きく影響を受け、特に清らかさを示す白い胡粉の使い方に関心を寄せました。きっと麦僊は朝鮮で、伝統衣装の美しい白さを見たときに、清らかな美を表現できる格好の題材だと感じたのでしょう。この色にこそ、端正で流麗な墨の線が映えるに違いない。このことが、画家の狙いでした。

小説家の中河与一は、「飽くまでも静かで、飽くまでも美しい一枚の傑作」と本作を称賛しています。

（当館学芸員 森 光彦）



コレクションルーム 冬期

特集 東アジアと近代京都の美術

2022年12月4日〔日〕— 2023年3月5日〔日〕 本館 南回廊1階

出品作品リスト ※印は個人蔵

* 都合により、出品作品を変更することがございます。あしからずご了承下さい。

No.	登録番号	作者	生没年	作品	制作年	形状・材質	サイズ(cm)	初出展
東アジアと近代京都の美術								
1	日-048	土田麦僊	明20-昭11	平牀	昭和8年	絹本着色 額	153.0 × 209.0	第14回帝展
2	日-034	前田青邨	明18-昭52	観画	昭和11年	絹本着色 額	179.0 × 222.0	改組第1回帝展
3	日-063	西山翠嶂	明12-昭33	馬	昭和14年	絹本着色 額	166.0 × 188.0	第3回新文展
4	※	久保田米僊	嘉永5-明39	漢江渡頭春光 青石関門秋色	明治28年	紙本墨画淡彩 屏風 六曲一双	各155.0 × 363.0	
5	日-239	都路華香	明3-昭6	東萊里の朝・ 萬年台の夕	大正9年	紙本着色 軸 対幅	各168.1 × 90.5	第2回帝展
6	日-061	小村大雲	明16-昭13	梁風子	昭和3年	絹本着色 軸	229.0 × 114.5	第9回帝展
7	日-359	村上華岳	明21-昭14	阿弥陀	大正5年	絹本着色 軸 箱付（波光箱書）	209.2 × 130.8	第10回文展（特選）
8	日-839	森 守明	明25-昭26	搗麦	昭和9年	紙本着色 屏風 二曲一隻	169.0 × 170.0	第15回帝展
9	日-113	菊池契月	明12-昭30	南波照間	昭和3年	絹本着色 額	224.0 × 176.0	第9回帝展
10	日-607	梶原緋佐子	明29-昭63	機織	昭和8年	絹本着色 屏風 二曲一隻	158.5 × 200.0	第14回帝展
11	日-870	不二木阿古	明29-昭18	夏の日	昭和14年	絹本着色 額	208.0 × 184.0	第3回新文展
12	日-562	秋野不矩	明41-平13	中庭の祈り	昭和59年	紙本着色 額	129.4 × 134.5	京都市芸術文化協会主催 選抜展
13	日-301	磯田又一郎	明40-平10	水のほとり	昭和47年	紙本着色 額	212.0 × 148.5	第4回改組日展
14	日-210	三上 誠	大8-昭47	灸点万華鏡	昭和41年	紙本着色 額	151.5 × 92.0	第24回パンリアル展
15	洋-001	岡田三郎助	明2-昭14	満州記念	昭和8年	油彩 板 額	63.0 × 66.5	大礼記念京都美術館展
16	洋-004	服部喜三	明26-昭53	古陶	昭和9年	油彩 キャンバス 額	84.0 × 115.0	大礼記念京都美術館展
17	洋-180	太田喜二郎	明16-昭26	インド洋上にて	大正2年	油彩 キャンバス 額	37.0 × 44.5	滞欧作
18	日-1203	小川翠村	明35-昭39	群芳会唱	大正11年	絹本着色 屏風 三曲一隻	201.5 × 268.1	第4回帝展
19	日-1010	紫岡宋琳	天明1-嘉永3	売鳥露店之図	不詳	絹本着色 軸	137.0 × 97.9	

No. 登録番号	作者	生没年	作品	制作年	形状・材質	サイズ(cm)	初出展
20 日-106	橋本関雪	明16-昭20	防空壕（下絵）	昭和17年	墨 着色 紙 軸	242.0 × 114.0	第5回新文展出品作下絵
21 書-087	長尾雨山	元治1-昭17	崔子玉「座右銘」	不詳	墨 紙 軸	150.0 × 40.0	
22 書-077	内藤湖南	慶応2-昭9	李白詩「古風」	大正12年	墨 紙 扇面 軸	25.0 × 54.0	
23 書-078	内藤湖南	慶応2-昭9	漢城有作	不詳	墨 紙 軸	140.0 × 34.5	
24 書-079	内藤湖南	慶応2-昭9	清曠招遠風	不詳	墨 紙 扁額	37.7 × 142.9	
25 書-067	狩野君山	慶応4-昭22	周美成詞「少年遊」	昭和10年	墨 紙 軸	67.0 × 28.0	
26 書-033	中野越南	明16-昭55	五言律詩詠雲	昭和33年頃	墨 紙 屏風 二曲一隻	136.0 × 122.0	
27 書-092	中野越南	明16-昭55	後撰集 夏歌 秋歌	昭和11年	墨 紙 冊子	21.0×16.5	
28 書-029	中野越南	明16-昭55	万葉歌春雜	昭和25年	墨 紙 卷子	27.5 × 275.0	
29 書-003	日比野五鳳	明34-昭60	鶯	昭和40年	墨 紙 額	34.0 × 108.0	第8回新日展
30 書-016	富岡鉄斎	天保7-大13	字幅（耕漁荘）	明治29年頃	墨 紙 軸	30.0 × 70.7	

磁器の美－白磁を中心に

31 工-780	竹中 浩	昭16-	白磁鉢	昭和52年	磁器	高9.7, 口径31.5, 底径13.5	「三人の陶芸家による小原流安部豊武挿花展」(三越、大阪北浜、1977年)
32 工-825	竹中 浩	昭16-	白磁筆筒	昭和55年頃	磁器	高12.0, 口径11.2, 底径10.5	
33 工-930	竹中 浩	昭16-	白磁香合	昭和50年代前半	磁器	3.9 × 5.0 × 2.8	
34 工-824	竹中 浩	昭16-	白磁面取壺	昭和52年頃	磁器	高19.0, 胴径21.0, 口径4.5, 底径11.5	
35 工-116	(五代)清水六兵衛	明8-昭34	白磁天女文扁壺	不詳	磁器	高33.0, 胴径26.0, 口径10.0	
36 工-029	楠部彌弍	明30-昭59	青華水指	昭和16年	磁器	15.5 × 23.0 × 21.5	第4回新文展
37 工-449	楠部彌弍	明30-昭59	白青磁條文花瓶	不詳	磁器	高20.8、胴径11.5	
38 工-337	伊東 慶	大13-平29	花	平成10年	磁器	高33.5, 胴径27.5, 口径14.5	第50回京展
39 工-335	伊東 慶	大13-平29	白磁「風韻」	平成7年	磁器	高34.0, 胴径26.5, 口径13.7	第47回京展
40 工-336	伊東 慶	大13-平29	白磁「華」	平成9年	磁器	高27.5, 胴径45.3, 口径45.3	第49回京展
41 工-958	竹中 浩	昭16-	白磁シノギ大壺	平成23年	磁器	高34.5, 胴径41.0	

冬の景

42 日-1206	小松 均	明35-平1	杉の雪	昭和15年	紙本着色 屏風 六曲一双	各172.5 × 370.4	第1回山南会展
-----------	------	--------	-----	-------	-----------------	----------------	---------

No. 登録番号	作者	生没年	作品	制作年	形状・材質	サイズ(cm)	初出展
43 日-127	宇田荻邨	明29-昭55	清水寺	昭和32年	紙本着色 額	90.0 × 120.0	第13回日展
44 ※	上村松園	明8-昭24	清少納言	大正6-7年頃	絹本着色 額	158.4 × 70.6	
45 日-241	河合健二	明41-平8	曙光	昭和49年	紙本着色 額	163.5 × 221.0	第6回改組日展
46 日-037	川村曼舟	明13-昭17	霧水	昭和11年	絹本着色 額	124.0 × 147.0	昭和11年文展招待展
47 日-1147	西久松吉雄	昭27-	冬の旅	昭和62年	岩絵具 麻紙 額	181.8 × 227.3	第39回京展（市長賞）
48 日-310	三輪晁勢	明34-昭58	丘の家	昭和30年	紙本着色 額	182.0 × 137.0	第11回日展
49 日-1183	山本知克	昭2-平15	家並	昭和62年	岩絵具 水干絵具 顔料 墨 和紙 額	162.2 × 212.0	第19回日展
50 日-598	西山英雄	明44-平1	紫禁城	昭和63年	紙本着色 額	93.0 × 235.5	
51 日-216	三上 誠	大8-昭47	異性の街, A	昭和37年	紙本着色 額	122.0 × 153.0	第20回パンリアル展
52 日-132	下村良之介	大12-平10	池畔	昭和32年	紙本着色 額	154.5 × 114.5	第15回パンリアル展
53 日-933	岩澤重夫	昭2-平21	凍韻	平成9年	紙本着色 額	225.0 × 150.0	第29回改組日展
54 日-303	中路融人	昭8-平29	冬田	昭和50年	紙本着色 額	228.5 × 168.0	第7回改組日展
55 日-208	徳岡神泉	明29-昭47	流れ	昭和29年	紙本着色 額	132.0 × 170.0	第10回日展
56 日-295	小野竹喬	明22-昭54	夕雲	昭和40年	紙本着色 額	98.0 × 143.0	第8回新日展

戦後関西の前衛ムーヴメント

57 日-616	山崎 隆	大5-平16	海浜	昭和24年	紙本着色 額	169.0 × 203.0	第2回パンリアル展
58 日-789	下村良之介	大12-平10	月明を翔く（弥）	昭和63年	紙本着色 額	122.7 × 244.0	第46回パンリアル展
59 工-039	八木一夫	大7-昭54	金環蝕	昭和23年	陶器 釉嵌	高48.5, 胴径17.0, 口径5.5	第4回京展（京展賞受賞）
60 工-322	寺尾忱示	昭4-昭62	作品 63-A	昭和38年	陶器 木	71.8 × 61.2 × 11.6	個展（ギャラリー16、京都、1963年）
61 工-267	柳原睦夫	昭9-	作品	昭和38年	陶器	54.1 × 39.0 × 19.8	個展（サトウ画廊、東京1963年）
62 書-004	森田子龍	明45-平10	寒山	昭和44年	墨 紙 屏風 四曲一隻	139.5 × 267.0	カナダ巡回個展
63 工-301	林 秀行	昭12-	饒舌	昭和51年	磁器 2点組	44.0 × 19.5 × 10.0 40.0 × 20.0 × 11.0	
64 工-086	八木一夫	大7-昭54	円	昭和53年	黒陶	54.3 × 55.0 × 17.4	走泥社展
65 工-265	鈴木 治	大15-平13	風ノ口笛	平成1年	陶器	52.0 × 48.0 × 23.5	個展